

4号 トトモニ

しおじり協働通信
平成30年度

ご自由にお持ちください



特集『あの人とともに』

座・TABCLO (ザ・テブクロ)

(日)の作業！で
月曜日から一週間の平日を元気に！

皆さんの思いや活動を応援します！

●まちづくりチャレンジ事業補助制度

TAKE
FREE

4号

しおじり協働通信トトモニ 平成30年度 第4号

TAKE
FREE

市民のみなさんへ お知らせ

まちづくりチャレンジ事業補助制度

あなたのチャレンジを応援します！塩尻のまちをもっと住みよく、楽しくするための(公益)活動に対して、塩尻市では補助金を交付します。平成31年度の募集受付期間は一次募集を4月に、二次募集(トライアルのみ)を9月に予定しています。塩尻を元気にする素敵な活動の参加をお待ちしています！

○●◆◇□■ 選べる“チャレンジのカタチ” ■□◆◇●○

体験型 トライアル事業 	「何か始めてみよう」という団体の皆さんに、まちづくりへの参加のきっかけを得てもらうための事業です。事業の実施を通して、活動をしていくためのネットワークづくりを行うとともに、市民の皆さんに身近な課題を提案し、共有を図ります。	発展型 ステップアップ事業 	「得意分野を生かし、新たなまちづくりの担い手を目指そう」という、団体の自立や新たな事業の確立を目指すための事業です。計画的に事業展開を行いながら、3年の間に段階的にステップアップを図ります。
----------------------------	---	------------------------------	---

事業	体験型：トライアル事業	発展型：ステップアップ事業		
		1年目	2年目	3年目
達成目標	ネットワークづくり、身近な課題の共有や提案	団体設立のための環境整備、事業の実施	団体の発展のための環境整備、事業の発展	協働事業(公共を担う事業)実施に向けた事業展開
補助限度額	10万円	20万円	20万円	40万円
対象経費の補助率	10/10以内	9/10以内	8/10以内	7/10以内
応募受付	年2回【4月・9月】	年1回【4月】		
採択基準	○目的が明確か ○公益性があるか	○目的が明確か ○自立しているか、あるいは自立を目指しているか	○公益性があるか	
研修・交流会等への参加(必修事項)	◆ 団体のスキルアップのための研修会への参加(「協働とは」、「団体運営の課題解決」など) ◆ 活動の成果を広く知ってもらうための交流会などへの参加 … ● まちづくり交流会 ● 中間報告 ● 実績報告会			
補助対象外	◆ 社会や、地域のどのような問題を解決するための活動なのかが不明確なもの ◆ 公益性がない活動・事業…趣味やサークルの活動、個人や団体の利益のための活動、参加者が少人数に限定される活動、宗教・政治活動を目的とした活動 ◆ 自立を目指さない団体・事業…会則を定めていないもの、会費を徴収していないもの、財政計画がきちんとしていないもの、食糧費・通常の事務費・備品の比率が補助対象経費全体の6割以上のもの			

※本制度は、塩尻市補助金等交付規則および塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金交付要綱に基づいて実施しています。

市民公益活動に関する掲載記事やお知らせを募集しています！詳しくは、えんのわまで！

本誌に関する お問合せ先	発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課
	〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350(内線4221) E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/
編集 特定非営利活動法人 えんのわ	〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320 E-mail:ennowa@hotmail.co.jp

（日）の作業！で、
月曜日から一週間の平日を元気に！

座・TABCLO(ザ・テブクロ)

明日からまた一週間が始まるなあ……。毎週そんな憂鬱な日曜日を過ごしていないだろうか。もしかしたらそれは休みが深過ぎることが原因かもしれない。作業療法士の二宮彰浩さんが運営する座・TABCLO(以後テブクロ)は塩尻市を拠点に、障がい状態にある人を中心に日曜日の午前中の過ご



座・TABCLO (代表)
二宮 彰浩 さん

し方の提案を行っている。「健常者でも休み明けの倦怠感を持つ人は多いものです。それでも何とか方法を探ってやり過ごすことができます。しかし何かしらの基礎疾患があり生活し辛さを抱えている人、つまり障がい状態にあり感情のコントロール等が難しい人にとって、就労意欲の欠如につながる大きな問題なんです。」二宮さんの活動は、第一第三日曜日の9時から12時の3時間、楽しく「休み過ぎない」企画を行い、「休み」と「就労」の時間の振り幅を小さく済ませようとす活動だ。

テブクロには毎回3人程が参加している。活動は多岐にわたり、動は、第一第三日曜日の9時から12時の3時間、楽しく「休み過ぎない」企画を行い、「休み」と「就労」の時間の振り幅を小さく済ませようとす活動だ。



場所だけではない、サードプレイスと言われる第三の居場所を提供したいんです。こだわっているのは時間で、日曜午前中の3時間と決めていきます。疲れすぎない疲労感はその後のパフォーマンスを上げ、翌日の仕事の張り合いにつながります」と、休日家に籠っているだけでなく積極的に外に出ることを促している。

二宮さんがこの活動を始めたきっかけは、実は本人もあまり明確でないという。最初は資格を取りたいと軽い気持ちで作業療法士を取得。その後、病院勤務や相談支援を中心に約10年活動する中で気持ちに変化していった。「組織に所属していると異動等がつきものです。すると道半ばで相談者さんと離れなければならない。支援し

きれない仕組みの限界を感じ、自分で活動を始めようと思ったんです。」現在はまちづくりチャレンジ事業の助成を受けて、テブクロで出会った人の才能を後押しする「プロデュース活動」にも乗り出した。二宮さんは「障がい状態にあっても素晴らしい才能を持っている人がたくさんいます。背中を後押しするお手伝いがしたい」と今後に向けて意気込んでいます。

平31年4月からは座・TABCLOを改名しrotation(ローテーション)として、(日)の作業！事業をプロペラ事業と改め、障がい者のニーズと地域社会のニーズをつないだプロペラを形作り、新しい飛び方や風を吹かせていく。



「フリーコミュニティスペース」をご活用ください！

「フリーコミュニティスペース」は、市民や地域の利益（公益）につながる活動を行っている市民活動団体のためのスペースです。団体登録することで、スペースを予約し、優先して利用することができます。活動するスペースにお困りの市民活動団体の皆さんは、ぜひご活用ください。

●場所：市民交流センター2階

※予約がない場合、一般利用者に開放する場合があります。

※利用方法などの詳細は、交流支援課にお問い合わせください。

